

食品ロスってなに？

食品ロスとは、売れ残りや食べ残し、賞味期限切れなど、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことをいいます。

日本では年間約461万トン*もの食品ロスが発生しています。これは国民1人当たりの食品ロス量に換算すると、**毎日おにぎりを1個捨て続けている**計算になります。

※農林水産省ホームページ(https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/161227_4.html)参照▶

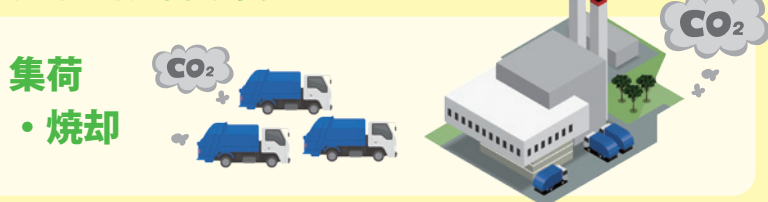


食品ロスと地球温暖化

食べ物を作って運ぶには、たくさんの電気やガソリンを使います。電気やガソリンを使うと、地球温暖化の原因になる二酸化炭素(CO₂)を出します。



また、食品ロスで出たごみを捨てる時にも、ごみの焼却処分によりCO₂が出るので、捨ててしまう食べ物のために必要以上にCO₂を出していることになります。



食品ロスを減らすには

買 いすぎない

必要なものを必要な時に、必要な分だけ買いましょう。



使 い切る

買った食材は工夫して保存、調理し、うまく使い切りましょう。



食 べ切る

買った食材は計画的に使い、食べ残さないようにしましょう。



エシカル消費ってなに？

消費には、買い物だけではなく、食べることや使うことも含まれています。

エシカル消費とは、日々の消費を通じて、人・社会・地域・環境の課題を解決するために、一人ひとりが意識して消費行動を選択することをいいます。

エシカルを直訳すると「倫理的・道徳的」という意味です。日々の消費から、地球にとってやさしい選択とはなにかを考えてみましょう。

「エシカル消費」には社会を変える力がある？

毎日の食品の買い出しや洋服を買う時に、環境・人・地域を思いやるものを選ぶことは、それらをつくる人や企業を応援することにつながります。このような選択を続けることで、良い商品や先進的な取り組みを守り続けることができます。日々の消費行動は未来の社会をつくる大切な一歩です。できることからエシカル消費をはじめてみませんか。

人や社会への配慮

働く人や社会的な弱者、世界の人々の権利や生活を守ることに役立つ消費です。

- ✔ フェアトレード認証商品を選ぶ
- ✔ 売上金の一部が寄付につながる商品を選ぶ



地域への配慮

自分たちの住む地域や、被災地などの経済を応援する消費です。

- ✔ 地産地消に取り組む
- ✔ 被災地の商品を選び、応援消費に取り組む
- ✔ 伝統工芸品を購入する



自然環境への配慮

地球温暖化や資源不足を防ぎ、自然環境や生態系を守るための消費です。

- ✔ 詰め替え用や簡易包装のものを選ぶ
- ✔ マイバッグ・マイボトルを使う
- ✔ てまえどりをする

隣のページを
見てみてね

